

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	神の国諏訪 お宝あそびⅡ
事業主体 (連絡先)	偉功とふれあう楽しい仲間 (会長 三ツ井磐 0266-58-5488)
事業区分	教育、文化の振興に関する事業 産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	623,492 円 (うち支援金: 467,000 円)

事業内容

(1)「神の国諏訪 お宝あそびⅡ」
 上社の社、鎌倉・甲州道、城下町、寺町・酒蔵めぐりの4コース。期間は7月30日(土)～11月30日(木)124日間。
 特に今回は観光客の誘客に力を入れるべく、準観光客とおぼしき諏訪・茅野・原村・富士見の別荘客1200名にポスティングするよう計画しました。

(2)「6人の芸事偉功物語を巡回展示」
 諏訪の芸事6人衆をB2のポスターにして、昨年巡回した公的施設6カ所に諏訪の図書館2F展示を増やして展示しました。従って、期間は28年6月1日から29年2月10日まで、202日間掲出しました。

事業効果

小学生の参加数を除いた客層別では、市内在住者60%、県内者20%、県外者20%の割合であった。参加数の内、188人の学生さんの参加は思いもよらなかったが、先生のご協力を得て本来のあり方をご教示いただいた。

しかし、一方観光客は音沙汰のない結果であったが、効果があったのは花火大会の当日、朝早くから駐車場へ集まる客へ働きかけたところ、一日で8人がコースを巡っていただいた。観光客については、旅行会社へ直接を試行してみたい。

なお、相変わらず評判が良いのはお子様とご家族の方がご一緒に回られるケースで、感想文でみると最も感謝されている様子が伺える。

後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

当初から、蝸牛の道づくりが狙いで楽しんで歩いていただく。このためには偉功物語の人文資源と、史跡、自然景観、生活、産業資源を有機的に結んで、地道であるが観光客の方にもぜひ楽しんでいただきたい。また、今後は県の補助がなくなるので、偉功から展開して、暮らし方・生き方の参考になるようなイベントを組み込んで、諏訪のものづくりの気風を育てられれば幸いである。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



(活動)

紙芝居で偉功を伝える
学生のお宝あそびの参加風景。

【目標・ねらい】

- ① 楽しんでお宝を探してもらう
- ② 観光客に諏訪ならではのあそびを楽しんでもらう
- ③ 偉功から生き方の参考にする
- ④ 偉功を次の世代に語り継ぎ、郷土に愛着を感じてもらう

※自己評価【 C 】

【理由】
 本年は250組の方に参加いただいた。目標数は達成したものの、思わない小学生の方の参加があったもので、観光客は惨敗した。